



古田知事を迎えて役員交流会を開催

(記事2頁)

報告書では、将来社会に対する不安が多く確実な未来を実感したいという県民の想いが強かったことから、今後の県政の進むべき方向を「確かな明日の見えるふるさと岐阜県をめざして」とし、「活力ある地域づくり」、「安全・安心な地域づくり」、「地域を支える人づくり」を県政推進の三本柱とし、問題解決型の視点と未来づくりの視点を持ちつつ政策を展開することとしている。

産業分野についてみると、経済環境の急激な変化に対応し、より足腰の強い産業振興の方向性を明らかにし、中小企業振興のブランドデザインとなる「産業振興ビジョン」を策定することとしている。ビジョンでは、製造業、商業・サービス業等の今後五年程度の振興方策を整理し、具体的に

民委員会の開催等を通じて、徹底した県民との意見交換を行った結果を取りまとめた「県民や県民委員会との共著でありコラボレーションの成果(知事)ともいえるもの。」

「確かな明日の見える県政」へ 総点検結果がまとまる

は、次世代産業育成に向けた環境整備、既存産業の高度化、地域資源を活用したサービス産業の開等縦軸に、中部圏との連携、海外市場開拓等の国際展開、人材育成等を横軸に検討を進めるとした。

また、中央会等商工団体が行う組合・地域等の実情に即した主体的取組を支援することにより、中小企業者の自主的な経済活動の促進を図るとともに、中小企業者の意見を聞きながら既存資金の拡充、創設、見直し等金融の円滑化、新事業の創出支援の拡充を図り、意欲ある中小企業を支援することとなった。

さらに、産業の高付加価値化のためのブランド戦略では、オリベプロジェクトを見直し、新たに「きぶブランド戦略」を策定し、地場産業振興のための地域ブランド戦略を展開するとした。また、本県の優れたIT基盤を活用し、「IT活用プラン」を策定して、中部圏を視野に入れた中小企業の情報化支援、人材育成を行うとしている。

古田県政は、産業振興を特に重要視しており、県民の総意も同様。この報告でもそれが色濃く反映されている。中央会としても、県との連携が一層重要となっており、今まで以上に県と協力しつつ期待に応えられるよう努めたい。



古田知事が就任直後から実施していた県の政策総点検結果が発表された。報告は、今後の県政の方向を示すもので、五万人近くの県民との二千五百回以上の意見交換会、七十九回もの県民委員会との共著でありコラボレーションの成果(知事)ともいえるもの。」



発行所
岐阜県
中小企業団体中央会
岐阜市藪田南5丁目14番53号
岐阜県県民ふれあい会館12階
毎月15日発行
購読料年間1,500円(1部125円)
事務局直通電話
管理調整 058-277-1100(代)
広報・事業 058-277-1102
情報 058-277-1103
事務局 FAX 番号 058-273-3930
東濃支所 0572-25-0865
飛騨支所 0577-34-4300

- ||||| 主な記事 |||||
- メイン記事(理事会&役員懇談会ほか) 2
 - 中央会・組合等の動き(組合青年部氏質向上研修会ほか) 4
 - 補助事業の案内 6
 - 海外レポート(シリコンバレー) 8
 - 一月の景況調査 7
 - 事務局だより(info中央会・中央会日誌ほか) 9

来年度事業計画概要の承認等四議案を決議

「新連携」など中小企業の組織化に取り組む方針

中央会は、『理事会』と、『がんばる組合役員意見交換会』、『役員交流会』を一月二十四日、岐阜グランドホテルで開催した。

理事会では、平成十七年度主な事業の進捗状況、平成十八年度事業計画案(案)の概要承認など、四議案について審議し、承認した。

来賓として、県産業労働部の豊田部長より「県の政策総点検結果」について、県議会の村下農林商工副委員長より「産業振興」についてふれつつあいさつがあった。

理事会

審議事項

理事会では、新規加入組合等の承認について、平成十七年度主な事業の進捗状況について、平成十七年度収支補正予算(案)の承認について、平成十八年度事業計画(案)及び収支予算(案)の概要承認について審議し、全議案等が了承された。

会長のあいさつ

社長は開会にあたり「県内経済にもようやく、緩やかではあるが回復の動きが出てきた。本年は、中央会にとって、一大転機の年。三位一体改革で、平成十八年度から国補助金がなくなり、全て県補助金となった。よって中央会も今まで以上に県との連携が求められ、本県産業振興にさらに役立つよう一層の



豊田局長のあいさつ

努力が必要となっている。また、組合こそが業界の最高の情報集積の場であり、各業界を一番知っているのは、この場におられる理事長の方々であり、業界の振興、発展に果たす組合の役割は大きく、そういう組合と一体となっているのが中央会であり、組合と中央会が一体となり本県産業の発展を牽引する。」と述べた。

平成十八年度重点事項

- 平成十八年度には、次の事項を重点に事業を進める。
- 中央会は、創立五十一年目を迎え、初心にかえり、組合の役に立つ中央会を目指す。また、中小企業情報をもっとも把握しているのが組合トップであり、その情報を活かすよう努める。
- 新たな連携の推進**
- ・LLP、新連携など新たな組織化に積極的に取り組む。
- ・「連携組織普及研修会」を五圏域で開催し、きめ細かく組織化を推進
- ・異業種交流、産学連携の推進
- きめの細かい組合支援 元気の出る組合支援の実施**
- ・組合の現状把握のため、組合巡回相談を徹底
- ・業界の抱える課題への対応、法・制度改正などの新しい課題への対応、新事業・新分野・新市場展開等への対応に関する各種研修会、懇談会を開催
- ・「組合等成功事例発表大会」を開催し、交流の促進、成果のPR
- ・組合事務局代表者相互の交流の促進し、情報の共有、連携の契機づくり
- ・組合の行う新事業展開への取り組み、研修会等の活動を支援
- ・組合青年部や女性部の活動強化、設置促進のための研修会懇談会を開催
- 組合の情報化の推進**
- ・組合等の情報力向上を図るため、パソコン研修等を実施
- ・情報セキュリティ向上のため、対策研修会を実施
- ・組合の情報発信力の向上のため、組合HP作成の支援、プレスへの情報提供への協力
- 各種情報の積極的な提供**
- ・メールマガジンを発刊し、組合への情報提供の充実
- ・月刊「中小企業情報」、「活性化情報」、HP等により、媒体に応じた情報提供
- ・情報連絡員、景況調査員の協力による景況情報などの迅速な提供
- ・官公需情報を把握し、関係組合等への提供
- ・組合理事長等から得た情報をもとに、行政機関等に対し、中小企業施策の充実を提言・要望
- ・中央会、組合等の活動を知ってもらうために、プレスへの情報提供を積極的に実施

**「がんばる組合」
役員意見交換会**

理事会に引き続き、役員、県議会・県産業労働部の幹部を交えて、「がんばる組合」役員意見交換会へと移り、十三組合の代表者から、それぞれの業界の現状や課題などについての意見が発表された。

主な意見は次のとおり。
(協)飛騨木工連合会〔関中央会副会長〕木製家具業界は九十四年をピーク後、右肩下がりが続いている。家具の売上よりも下駄箱やシステムキッチンなど住宅建材の売上が上回っている状態。



中央会理事会

態。企業自身が構造改革しなければ生き残れない産業となっている。

岐阜県プラスチック(工組)【大松理事長】好調な自動車産業やデジタル分野で売上が伸びている。内需面ではオーバーストアの中、利益のない競争が行われている。

岐阜県金属工業団地(協)【今井理事長】仕事量はあるが、材料費等のコストアップが価格に転嫁できていないため、利益が出ていない。ＥＴ関連などの新しい組合事業を検討している。

岐阜県印刷(工組)【林理事長】印刷は「情報の交差点」という考えに基づき、デジタルデータは加工の方策により多岐に活用できるため、前向きに展開していきたい。

物流ネットワーク中部(協)【大野理事長】全国百二十組合の物流システム「ローカルネット」の中で月間売上高が全国一位である。組織拡充を進めている。

岐阜県婦人子供服(工組)【松原理事長】「オリベスク」ブランドで、国内の販路開拓を展開。中国への進出を進めている。

岐阜県中央会レディースクラブ【高井副会長】繊維業界は勝

ち組と負け組みがはつきりしている。消費者に直結している企業は、消費者ニーズに対応した商品を早く取り入れる強みで伸びている。

岐阜県金型(工組)【中村副理事長】自動車産業関係が好調であるが、価格は厳しい。技の伝承に力を入れていきたい。

岐阜県陶磁器工業(協連)【加藤理事長】今年四月施行の新制度を利用して美濃焼陶磁器を産地ブランドとして商標登録する予定。和食器を海外へ積極的に売り込んでいく。モノづくりは日本が世界一であり、今まで以上に良いモノを作る目・気力・



組合の意見交換会

経験が必要となる。
土岐市陶磁器卸業協(玉樹理事長)今年の傾向は白と黒を基調にした商品が人気。陶芸作家による手づくりの商品が多くあった。

岐阜県商店街(振連)【森理事長】コンパクトシティの中で商店街を活性化させたい。

(協)土岐美濃焼卸センター【籠橋理事長】志野・織部 道の駅で、陶磁器の売上は順調に推移している。また、卸団地の中でも小売店を出店することとしている。

岐阜県酒造(協連)【老田理事長】芋焼酎をはじめ、水より安価な焼酎のブームにより、九州地方へ需要が流れている。

岐阜県可児工業団地(協)【加藤理事長】国・県の高度化資金で団地を建設。その後も高度化資金を活用している。日本は土地代が高いのがハンデとなっている。団地内に人手が多くなると、その分の駐車場確保が課題。可児市内への道の駅誘致を要望する。

役員交流会

引き続き行われた「役員交流会」では、古田肇岐阜県知事をお迎えし、「県政の総点検を踏まえ、県経済の発展につながる

よう産業政策をすすめる。企業をジャンプのタイミングで応援したい。」とあいさつがあった。その後、古田知事を囲んで、各業界との交流の場がもたれた。

新規加入組合等

() 内は代表者名、所在地、組合員数

- 新和ソーイング協同組合(安田 田鉦二郎、岐阜市、4名)
- 岐阜不動産賃貸業協同組合(白井 幸一、岐阜市、4名)
- ファッション・アカア協同組合(奥村 等、岐阜市、5名)
- 岐阜県土木用ブロック協会(本田行雄、岐阜市、14名)
- 東海建設業協同組合(棚橋弘美、岐阜市、4名)
- 岐阜プラスチック共栄協同組合(山田信次、関市、6名)
- 友愛時装協同組合(川口文男、瑞穂市、4名)
- フレンドリーファッション協同組合(曾我隆司、岐阜市、5名)
- 飛騨木製品業協同組合(秋谷静男、高山市、1名)
- 縫友会協同組合(梅村貴敏、美濃市、4名)
- 協同組合ケイエムシー(鷺崎幹夫、関市、5名)
- 岐阜羽島アパレル協同組合(藤川尚宏、羽島市、4名)

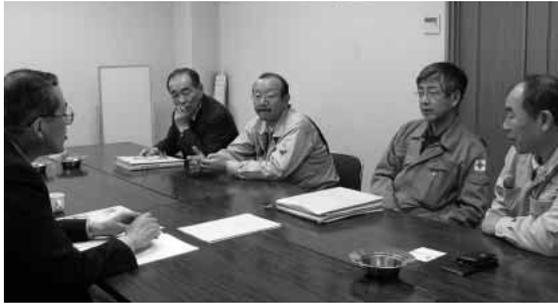
十七年度豪雪による被災中小企業者等の融資相談窓口が設置されました！
 お問い合わせ先 県産業労働部中小企業課 TEL〇五八・二七二・一一一(又は各農林商工事務所(産業労働担当)及びセンターまで

指定管理者に名乗り

高山管設備工業協(武芸川特産品開発企)

公の施設(公園、スポーツ・文化施設、福祉施設など自治体の住民サービスのための施設)の管理運営に民間活力を導入し、サービスの向上と経費の節減を図るための指定管理者制度。県内でも組合の参加するグループが指定を受けることとなり、新たな活路として注目を集めている。

高山管設備工業協同組合(砂田信博理事長)は、県外の2企業と「高山管設備グループ」を結成、高山市の上水道、簡易水



指定管理者について語る砂田理事長(右から2番目)

道の五十二施設の管理運営業務管理者の指定を受け、今後3年間、水の供給を行うこととなった。

組合には、一昨年、配水区域の見直しなどによる安定供給、経営の効率化を提言する等積極的な活動実績もある。

砂田理事長は、安全・安心な水の安定供給に自信を示しつつ、今後とも市への提言、地元雇用

県に除雪

対策費を寄付

岐阜県遊技業協

岐阜県遊技業協同組合(若本榮植理事長)は二月一日、今冬の大雪で県内各地に被害が広がっているため、除雪対策に役立ててもらおうと、県にその対策費用として寄付を行った。

この日、若本理事長が県庁を訪れ、柵橋副知事に目録を手渡し、県から感謝状が贈られた。

若本理事長は「困っている地域の除雪対策に生かして欲しい」と語った。

の確保に努めたいとしている。なお、上水道事業の指定管理者

制度の導入は、全国初。

また、**武芸川町特産品開発企**

業組合(杉山ミサ子理事長)は

岐阜市の企業とともに、関市武芸川温泉ゆとりの湯の指定管理者の指定を受け、4月から3年間、温泉施設の管理運営、地域おこしのためのイベントを行うこととなった。

組合青年部資質向上研修会

県青年中央会

若手経営者を対象に一月二十七日岐阜市ホテルパークで、資



組合青年部資質向上研修会

女性経営者等支援セミナー

中央会レディースクラブ

中央会と中央会レディースクラブは、二月三日岐阜市ホテルグランヴェール岐山で女性経営者を対象に経営セミナーを開催した。

講師の良正庵・庵主小林良正尼僧の講演では、現在、複雑な

人間関係や将来への不安などによる精神的なストレスを感じる人が多い、経営者は従業員の心モラル等、メンタルな質をいかに向上させるか、を女性の観点から語られた。



林良正氏

質向上のための研修会が開催した。

講師は、(株)ビジネスネットバンク代表取締役の池田浩氏が、「外部ブレンの見つけ方、活用の仕方」をテーマで講演した。人的ネットワーク、経営経験等に乏しい若手経営者にとって、ビジネスにおける支援者の存在は重要な経営資源となり、企業のライフスタイル(創業、成長、成熟、衰退)の様々な場面で、外部のブレンとなってくれる弁護士や税理士などの士業、公的機関などと如何に関わり、上手に活用するか、どう支援を求めるかといった情報を収集し、

女性経営者等支援セミナー

従来からの紛争処理等の企業活動におけるマイナスマなだけでなく、企業が勝ち組になるための「外部ブレン」の戦略的活用手法について熱心に聞き入った。

元旦から一五〇〇個の光の帯

下呂温泉旅館協

下呂温泉旅館協同組合(滝多賀男理事長)は、下呂市湯の島の飛騨川河川敷に約千五百個の電球を設置、幅一灯、長さ三百灯の光の帯が、観光客の目を楽しませている。

同組合では毎年冬に、下呂大橋にイルミネーションを設置していたが、温泉街の雰囲気によ

りマッチした趣向に変えた。下呂大橋から見ると、ほんのりとしたぬくもりのある光が、飛騨川沿いに幻想的な雰囲気をかもし出しており、組合では、見る人を楽しんでもらえる上、環境にも配慮した」とのこと。二月末まで設置される予定である。



一五〇〇個の光の帯

「東濃ヒノキ」の初競り

東濃ヒノキ白川市場協

加茂郡白川町の東濃ヒノキ白

川市場協同組合(板頭字理事長)



「東濃ヒノキ」の初競り

は、組合市場で一月十一日、新春初市を開催した。

木材の並んだ場内に威勢のいい競りの声飛び交った。

今年は昨年十二月以降の大雪の影響で、伐採や搬出が困難であったため出荷量は例年の六割

木製ボード県に寄贈

岐阜県くい丸太素材生産協

岐阜県くい丸太素材生産協同組合(井納一雄理事長)は、岐阜県森林組合連合会と岐阜一會とともに、木製楽譜ボードや丸太いすなどを県に寄贈。一月二十三日、古田知事出席のもと、県庁で贈呈式を行った。

に減少。競りには、県内外の製材業者ら約六十人が参加し、市場の売り手の声に合わせ、次々に競り落とされた。

ヒノキが品薄傾向であったが、単価はますます取引された。



寄贈された木製ボード

一階ロビーに設置され、広く県民に見てもらえることとなり、PR効果が期待できる。

環境に配慮した企業

リサイクルフォーラム

企業のリサイクルを推進し、資源循環型社会の実現を目指す「岐阜県企業リサイクルフォーラム」(中央会・県中小企業産業廃棄物対策連絡会議・財地球環境村ぎふの共催)を一月十七日、大垣市加賀野のソフトピアジャパンで開催した。

県内の企業や自治体から約百六十人が出席し、(株)杉山・栗原環境事務所代表取締役の杉山涼

杉山涼子氏の基調講演



杉山涼子氏の基調講演

お問い合わせ先 中央会 広報・事業チーム

中央会所得補償・PL・個人情報漏えい賠償保険を「活用下さい!」

組合等の中小企業連携組織に対する支援・補助事業の募集について

岐阜県中小企業団体中央会

本会では平成18年度の組合等に対する支援事業について、募集いたしております。

支援事業の概要

(1) 組合等活動支援事業

イ. 事業の概要: 組合等が抱える諸課題の解決、あるいは人材育成のため、専門家又は中央会指導員による助言を行うことにより、課題・解決に向けた支援を行います。一貫したテーマの下での取組みにおいては、各種勉強会等の回数制限はありません。

ロ. 対象: 組合等(中小企業組合、任意グループ等)

(2) 青年部研究会事業

イ. 事業の概要: 組合等の青年部組織が抱える諸課題の解決、あるいは人材育成のため、専門家又は中央会指導員による助言を行うことにより、課題・解決に向けた支援を行います。

ロ. 対象: 若手経営者等で組織される、組合等(中小企業組合、任意グループ等)の青年部

(3) 組合等女性部活動支援事業

イ. 事業の概要: 中小企業組合の女性部組織等が抱える諸課題の解決、あるいは人材育成のため、専門家又は中央会指導員による助言を行うことにより、課題・解決に向けた支援を行います。

ロ. 対象: 中小企業組合の女性部組織、或いは女性経営者等で構成される任意グループ等

助成金の上限: 300千円

助成率: 3分の2(3分の1は受益者負担)

募集期限

平成18年3月31日を第1次の締切とし、その後予算の範囲内で随時受付します。

全国中小企業団体中央会

全国中小企業団体中央会では、組合等の中小企業連携組織に対する下記の補助事業について、その実施組合等の募集を平成18年1月16日(月)から開始しております。

補助事業の概要

(1) 中小企業組合等活路開拓事業

イ. 事業の概要: 中小企業が組合等を中心に、共同して新たな活路を見出すために実施する将来ビジョンの策定、そのビジョンの成果を具体的に事業化・実用化しようとする事業に対し支援を行います。

ロ. 補助金額: 補助対象経費総額の10分の6以内であって、12,167千円を限度とします。

(2) 組合等情報ネットワークシステム等開発事業

イ. 事業の概要: 組合等を基盤とした情報ネットワークシステムの構築、組合員向け業務用アプリケーションシステムの開発及びこれらシステムの普及のための事業に対し支援を行います。

ロ. 補助金額: 補助対象経費総額の10分の6以内であって、12,167千円を限度とします。

(3) 組合等自主研修事業

イ. 事業の概要: 組合等が、その組合員(会員)等を対象に研修を行うことにより、組合等の人材養成を促進するために実施する事業に対し支援を行います。

ロ. 補助金額: 補助対象経費総額の10分の6以内であって、180千円を限度とします。

(4) 組合等Web構築支援事業

イ. 事業の概要: Webサイトを構築し、組合情報、組合員企業情報等を広く発信し、業界の活性化及び個別企業の新たなビジネスチャンスの創出を図る事業に対し支援を行います。

ロ. 補助金額: 補助対象経費総額の10分の6以内であって、420千円を限度とします。

全国中央会応募の締め切り: 平成18年2月28日(火)

補助対象組合の選考については、全国中央会で書類選考、事業内容ヒアリング(中小企業組合等活路開拓事業及び組合等情報ネットワークシステム等開発事業のみ)を実施した上で、4月下旬頃に決定します。

岐阜県中央会支援事業・全国中央会補助事業のお問い合わせ先

岐阜県中小企業団体中央会 058 - 277 - 1100(代)

ご質問がございましたら、お気軽にご連絡下さい!

◆: 中小企業倒産防止共済制度をご利用下さい!

お問い合わせ先 中央会 広報・事業チーム

海外駐在員レポート

シリコンバレー駐在で感じたこと ～ 県の総合的産業振興を支える拠点として再出発～

岐阜県シリコンバレー駐在員 小木曾 弘和

西海岸の経済の中心

平成18年3月に岐阜県シリコンバレー事務所は閉鎖されます。県は米国の事務所をニューヨークに統合、改めて岐阜県の総合的産業振興を支える海外拠点として再出発させることになっています。

シリコンバレーは米国西海岸地域の経済の中心。東海岸に比べて歴史が浅く、米国でも異質な存在です。この地域の発展の歴史は半世紀強ほど、短い間に全米のベンチャー向け投資の4割を集中させるに到った魅力は一体何でしょうか。

ある人は結局気候が最大の魅力と言います。年中温暖、しかも3月下旬から10月下旬は乾期で雨がほとんど降らず晴天続き、暑くても空気が乾燥していて比較的過ごし易いこの地域は、確かに人間が住むには非常に快適です。

全米で最も安全、という話もあります。もちろん地域によって異なりますが、サニーベールやサンタクララ、クパティーノ、マウンテンビューといった地域は犯罪が少なく、町並みも綺麗で穏やかです。またスタンフォード大学のような高度教育拠点の存在とそれを中心とした人材ネットワークも重要。それはこの地域の人々に強い影響を与え、人種毎に、業種毎に似たようなグループ、ネットワークを形成しています。日本人もいくつかグループを作っていますが、どうも中国やインドなどと比べると弱いように思えます。

このような様々な魅力をもつシリコンバレーには、リッチになることを夢見て世界中から人々が集まってきました。

地域の人々の特色は、日本人に近い

この地域の人々の特色は、とにかく独立心が旺盛なことです。ある日本在住経験のあるアメリカ人によると、東海岸の人々はシリコンバレーより

むしろ日本人に近いのだとか。会社への忠誠心や規律正しい就労スタイルなどは東海岸では普通なのだそうです。それが西海岸では転職は当たり前、ジーパンにTシャツで社内を闊歩し、好きな時間に来て好きな時間に帰るのも珍しくありません。一方でアメリカ人は自分勝手とか働かないなんてイメージも、実はかなり歪んでいます。勤勉で寝食を省みず働く人、とても親切で気遣いの多い人も少なくありません。

南米系の人々は極めて重要な労働力です。掃除や洗車、荷物運びなどの労働者が多いが、彼らの働きぶりは非常に真面目です。不法就労者らしい人も大勢いますが、彼らの真面目な働きぶりを見てみると、彼らの次やその次の世代の頃には、彼らがこの地域の中心的存在になっているのではないかと思います。

まとめ

この地域に来て、こうした人種の違いや経済の動向を観察する機会を得、考えさせられることが多々ありました。特に強く感じるのは、日本がこのままで大丈夫なのか、という心配です。強力な競争相手が次々と登場し、米国市場を目指してきます。そして米国市場で培ったノウハウを元に、今度は別な市場を目指します。これに対して日本人がそれほど強く海外を意識しているようには思えないのです。

日本は元々資源が乏しく、海外から原料を買って加工し付加価値をつけた物を持って差額を稼ぐしかなかったはず。海外から多くの物を買わねばならない以上、海外から金を稼がなければいつか破綻するのは。私は経済学の素人ですので難しいことは分かりませんが、金を稼がなければ何も買えない、という単純なことをそれは違う、と明確に説明してくれる人や本に出会ったことは未だありません。

私には、今一度日本人が海外で活躍するための方策を真剣に考えるべき時であるように思えます。今回の駐在の経験では思いを強くさせられました。できればもう一度、今度は自分だけの力で海外生活に挑戦してみたいところです。



日本人グループの勉強会



中央会ホームページ
URL: <http://www.chuokai-gifu.or.jp/>
Eメール
info@chuokai-gifu.or.jp

組織改正及び人事異動

組織改正(平成十八年二月一日付け)
【本所事務局組織】

- 中央会では、「役に立つ中央会」を目指すため、次のとおり組織を改正した。
- ・管理調整チーム(TEL058・二七七・一一〇〇)
- ・組織指導チーム(同・一一〇一)
- ・広報・事業チーム(同・一一〇二)



三月
青年部講習会の案内

【日時】平成17年3月1日(水)18時30分～20時

【会場】セラトピア土岐

【講師】青木豊彦氏(株)アオキ代表取締役・中小企業による人工衛星打ち上げ計画をスタートさせた方)

【テーマ】モノづくりは、人づく

・情報チーム(同・一一〇三)
人事異動(平成十八年二月一日付け)

- 【異動名簿】
- 事務局次長心得兼組織指導チームチーフリーダー＝池田真澄
- 管理調整チームチーフリーダー＝高橋徹
- 広報・事業チームチーフリーダー兼飛騨支所長＝松野信一

組合関係税制研修会の案内

県下三会場で、十八年度税制改正要綱などについての説明を行います。

【日時・場所】《飛騨会場》3月20日(金)・高山市・高山市民会館

《岐阜会場》3月23日(金)・岐阜市「県民ふれあい会館」、《東濃会場》3月24日(火)・多治見市「県陶磁器資料館」

三会場とも、14時から16時です。

情報チームチーフリーダー＝木村和範
広報・事業チームサブリーダー＝窪田英男
組織指導チームスタッフ＝中林伸介
【退職】(二月三十一日付け)
河村秀彦(調査労働チームチーフリーダー)

「貸します詐欺」に注意

最近大手金融機関などを装って、「お金を貸します」といった内容の偽者ダイレクトメールや携帯メール等を送りつけて、保証金や保険名目でお金を騙し取る新手の手法が急増しています。このような詐欺行為を「貸します詐欺」といいます。被害にあわないよう十分ご注意ください。

一月十六日～三十一日

16日 中部経済産業局佐藤新局長来会

17日 岐阜県企業リサイクルフォーラム(ソフトピアジャパン)

18日 「知っておこう!組合役員的心得」研修会(ふれあい会館)

中央会理事会&総会のお知らせ

平成十八年度第一回理事会及び第五十一回通常総会の日程をご連絡致します。関係各位には、日程確保をお願いするとともに、「ご出席賜り

組合役員等を対象
組合制度を再確認

中央会では、組合役員等を対象に「知っておこう!組合役員的心得」をテーマに研修会(一月十八日)を実施した。

組合の健全な運営には組合役員の果たすべき役割は重要で、「中小企業組合 理事のためのQ&A」の著者である清水透氏より、組合役員として知っておきたい基本的な知識、心掛けておかねばならない義務と責任等について説明が行われた。

ますようお願い致します。
理事会(役員会)
四月二十五日(火) 10時30分

13時 県民ふれあい会館
通常総会
五月二十九日(月) 13時30分
15時30分 未来会館

中央会十八年度予算 副知事に要望

一月二十三日、会長、大野専務理事が棚橋副知事、原副知事を訪問、県の平成十八年度予算における中央会補助金の確保を要望した。

副知事からは、産業振興対策が本県の最重要施策の一つであること、組合、中央会の積極的な活動への期待等が述べられた。

中小企業青年中央会・ふれ

あい交流会(ホテルパーク)
一月二日～十五日

3日 女性経営者等支援セミナー(グランヴェール岐山)

13日 岐阜県高等学校就職問題検討会議(岐阜労働局)

県官公需フォーラム(サンピア岐阜)



24日 中央会理事会・役員懇談会(岐阜グランドホテル)